

事務局だより

1. 平成元年度総会

総会では恒例により、大会委員長（秋山俊夫教授）を議長として選出し、議事に入り、以下の決定がなされた。

(1) 昭和63年度決算について

監査委員の大久保康彦、馬場房子両氏の監査を受けたが決算書が事務局より提出され、承認された。

(2) 平成元年度予算案について

常任運営委員会、運営委員会において承認された後、総会で承認された。

(3) 第55回大会決算について

開催校、創価大学より報告があった。

(4) 名誉会員推薦について

常任運営委員会において推薦がなされ、その後、運営委員会ならびに総会において、次の先生の名誉会員推挙が満場一致で決定された。

遠藤辰雄先生

(5) 次期大会開催校について

茨城大学において、菊池哲彦教授を大会委員長として開催することが決定された。

平成元年度総会式次第

平成元年10月14日（福岡教育大学第56回大会時に同校で開催）

1 開会の辞

2 議長選出

3 事業報告

(1) 会員異動状況

(2) 会費納入状況

(3) 公開シンポジウム開催について

(4) 機関誌発行について

4 日本学術会議心理学研連絡会報告

5 心理学諸学会連絡会報告

6 国際心理学記念基金運営委員会報告

7 第55回大会会計報告

8 昭和63年度決算報告

9 平成元年度予算報告

10 名誉会員推薦について

11 会則改正について

12 次期大会開催校挨拶

13 その他

14 閉会の辞

会則改正について

この度、常任運営委員会において検討され、その後、運営委員会第56回大会総会の議を経て会則が一部改正されました。

日本応用心理学会会則

第7条（旧）

会長は大会当番機関の代表者、副会長は前期大会当番機関の代表者がこれに当たる。この場合の会長の任期は前大会終了の翌日から次期大会終了の日までとする。また大会当番機関の決定は当該大会に先行する総会の決議による。

第7条（新）

会長は大会当番機関の代表者、副会長は次期大会当番機関の代表者がこれに当たる。この場合会長および副会長の任期は前期大会終了の翌日から大会終了の日までとする。また大会当番機関の決定は当該大会に先行する総会の決議による。

（アンダーラインは修正箇所をあらわす）

昭和63年度決算報告

収 入			支 出		
項 目	実 行 額	予 算 額	項 目	実 行 額	予 算 額
前年度繰越金	303,880	303,880	第55回大会補助費	400,000	400,000
学 会 費	<u>3,528,500</u>	<u>3,335,000</u>	シンポジウム費	85,680	100,000
過 年 度 分	617,500	450,000	印 刷 費	<u>1,322,725</u>	<u>1,550,000</u>
本 年 度 分	2,871,000	2,835,000	機 関 誌	1,137,060	1,300,000
		(4500×900×0.7)	そ の 他	185,665	250,000
賛 助 会 費	40,000	50,000	通 信 費	<u>358,525</u>	<u>450,000</u>
雑 収 入	68,622	50,000	機 関 誌	158,200	250,000
			一 般	200,325	200,000
			機関誌編集費	15,000	30,000
			「ミニ通信」費	116,400	150,000
			さいころじすと費	30,790	60,000
			諸学会間連絡会費	6,000	15,000
			交 通 費	150,000	200,000
			名簿作成積立金	200,000	200,000
			事 務 局 費	406,831	350,000
			ア ル バ イ ト 費	104,000	100,000
			予 備 費	—	83,880
			次年度繰越金	705,051	—
合 計	3,901,002	3,688,880	合 計	3,901,002	3,688,880

(他に昭和62年度分名簿作成積立金 400,000円)

上記の通り相違ありません

平成1年7月27日

監査委員 大久保 康 彦 ㊟

監査委員 馬 場 房 子 ㊟

平成元年度予算原案

収 入		支 出	
項 目	予 算 額	項 目	予 算 額
前年度繰越金	705,051	第56回大会補助費	400,000
学 会 費	3,143,750	シンポジウム費	170,000
過 年 度 分	225,000	印 刷 費	1,450,000
本 年 度 分	(4500×50)	(機 関 誌)	1,200,000
2,868,750	2,868,750	(そ の 他)	250,000
(4500×850×0.75)	(4500×850×0.75)	通 信 費	300,000
賛 助 会 費	50,000	(機 関 誌)	100,000
雑 収 入	50,000	(一 般)	200,000
名簿作成積立金	600,000	名簿作成費	800,000
		概 関 誌 編 集 費	30,000
		「ミニ通信」費	150,000
		「さいころじすと」費	60,000
		諸学会間連絡会費	10,000
		交 通 費	200,000
		事 務 局 費	450,000
		ア ル バ イ ト 費	120,000
		予 備 費	358,801
合 計	4,498,801	合 計	4,498,801

日本応用心理学会

第55回大会決算報告

1988年10月22・23日

於：創価大学教育学部

収 入		支 出	
大会補助費	400,000	通 信 費	473,700
大会参加費	1,071,000	論文集発送費	15,550
(内訳) 予約	(148×4,500=666,000)	会場備品費	380,000
当日正会員	(65×5,500=357,500)	事務委託費	150,000
臨時会員	(7×5,500=38,500)	プログラム作成費	398,076
学生会員	(9×1,000=9,000)	懇親会関係費	400,000
論文集代金	1,147,500	シンポジスト(非会員)謝礼	183,500
(内訳) 予約	(201×4,500=904,500)	論文集作成費	420,000
当日	(48×5,000=240,000)	運営委員会会合費	126,400
懇親会費	88,000 (22×4,000)	アルバイト代	525,000
広告料	450,000	座長その他への記念品	66,000
補助・協賛金	340,000	事務印刷費	200,000
雑収入	8,996	雑 費	67,270
合 計	3,505,496	合 計	3,505,496

2. 常任運営委員会記録

平成元年9月12日

出席者：山本・大塚・大村・恩田・岡村・奥沢・神作・斉藤・高嶋・高橋・長塚・西岡・肥田野・平野・宮本(昇)・井村・(中村・篠原・小野・谷口)

板倉・大平(名誉会員)

報告事項①第56回大会準備状況②諸学会連絡会関係③学術会議心研連関係④事務局諸報告

審議事項①公開シンポジウムについて②第59回大会(平成4年度)開催校について③名誉会員推挙について④新入会員審査：4名の入会を承認⑤第56回大会総会議題の確認

平成元年11月11日

今回より菊池会長・永田副会長によって議事が進行された。

出席者：菊池・永田・大村・岡村・恩田・神作・越河・宮本(昇)・村井(中村)

太田垣(名誉会員)

報告事項①第57回大会準備状況②公開シンポジウム③事務局諸報告

審議事項①新入会審査②その他

平成元年12月8日

出席者：菊池・大塚・大村・恩田・斉藤・平野(中村小野)

板倉(名誉会員)

報告事項①第57回大会準備状況：会期は9月28・29日とし準備を進めている。②諸学会連絡会関係③事務局諸報告

審議事項①学会企画刊行物について②「応用心理学研究」編集委員交代について③新入会員審査：3名の入会を承認。

平成2年1月23日

出席者：菊池・大村・岡村・奥沢・恩田・斉藤・高嶋・長塚・平野・正田・村井(中村・小野)

板倉・大平・森(名誉会員)

報告事項①第57回大会準備状況：第1号通信について②諸学会連絡会関係③学術会議心研連関係④事務局諸報告⑤その他

審議事項①学会企画刊行物について②「応用心理学研究」編集委員会について③新入会員審査：2名の入会を承認。④その他：会費滞納者の処遇について：27名を退会とする。

平成2年3月30日

出席者：岡村・神作・越河・斉藤・高橋・長谷川・平野・正田・村井(中村・小野)

太田恒・大平・森・山本(名誉会員)

報告事項①第57回大会について②諸学会連絡会関係③学術会議心研連について④「応用心理学研究」編集委員会：第15号編集状況について。

審議事項①「応用心理学研究」について：編集委員会規定検討小委員会を設置。②新入会員審査：8名の入会を承認。

平成2年4月27日

出席者：菊池・大塚・岡村・恩田・神作・斉藤・高橋・長塚・長谷川・肥田野・平野・正田

(中村・小野)

報告事項①第57回大会準備状況

審議事項①「応用心理学研究」について②国際シンポジウム開催について③新入会員審査：7名の入会を承認。

平成2年5月25日

出席者：菊池・越河・肥田野・正田

(中村)

板倉・山本(名誉会員)

報告事項①第57回大会準備状況②諸学会連絡会関係③学術会議心研連について④事務局処報告：長谷川貢先生逝去。その他。

審議事項①「応用心理学研究」について②平成元年度決算報告・平成2年度予算案について③新入会員審査：7名の入会を承認。④その他

平成2年6月26日

出席者：菊池・奥沢・恩田・神作・高嶋・肥田野・平野・村井(中村)

山本(名誉会員)

報告事項①第57回大会準備状況：プログラムは8月に発送予定。②諸学会連絡会関係③事務局諸報告

審議事項①「応用心理学研究」について②科研費審査委員候補者推薦について③公開シンポジウム：今年度テーマは「交通安全教育」(オーガナイザー・長塚委員)にすることを決定。④会計監査委員交代について⑤新入会員審査：2名の入会を承認。⑥その他

3. 一般活動報告、事務諸報告

1 第56回大会(平成元年10月14・15日)福岡教育大学において開催。盛会のうちに終了。

2 「応用心理学研究」第14号が印刷でき、会員および関係機関に送付した(平成元年10月)。

3 平成元年度公開シンポジウムを、「外国人留学生の日本企業への就職と適応の問題」をテーマとして開催した(平成元年11月11日、会場日本大学文理学部)。

4 「ミニ通信」を発行(平成元年2月)。

4. 第55回大会発表状況

(平成元年10月13・14・15日、会場福岡教育大学、大会委員長秋山俊夫教授)

個人発表 91件

特別講演 1件

小講演 5件

大会企画公開シンポジウム 2件

自主シンポジウム 2件

発表取り消し 0件

5. 会員異動 (前号掲載以降の分, 敬称略)

新入会員 (氏名①現住所②所属)

秋山弘美

②(株)マイン

荒木敏宏

②大阪府堺児童相談所

馬場りえ

②立教大学大学院

福田 広

②山口大学教育学部助教授

藤川美枝子

②広島大学大学院

芳賀明子

②富士ゼロックス(株)オフィス研究所

浜野文彦

②国立療養所和歌山病院

畑江千穂

②ビヘイピアアンドコミュニケーション

平尾美枝子

②立教大学大学院

池田恵利子

②調布市在宅福祉事業団

柏木繁男

②千葉大学人文学部教授

小林美和子

②お茶の水女子大学研究生

小杉常雄

②警視庁科学捜査研究所

松田明子

②産業医科大学教授

松下由美子

②東邦大学医療短期大学講師

三上れつ

②慶応義塾大学病院

南 隆男

②慶應義塾大学文学部教授

森 千鶴

②東京都医療技術短期大学助手

永井真司

②登校拒否文化医学研究所

帯谷賢道

②

尾川丈一

②慶応義塾大学研究生

小倉洋子

②青山学院大学研究生

小原甲子

②日本大学板橋病院

桜井広幸

②明星大学大学院

佐藤手織

②東北大学大学院

佐藤佳子

②聖マリア学院短期大学助手

菅野久信

②産業医科大学教授

高橋憲男

②北海道工業大学教養部教授
竹村 学

②豊橋短期大学講師
豊村和真

②北星学園大学文学部助教授
宇恵 弘

②関西学院大学大学院
浦野敦史

②日本大学大学院
米田佳代子

②お茶の水女子大学家政学部助手
渡辺敬子

②立教大学大学院
退会者（長期会費滞納者を含む）

中里弘，大谷哲朗，田端純一郎，高橋誠，田野洋一郎，八重沢敏男，柳田ふさ，若林明雄，藤沢真喜雄，増永隆，加藤健二，吉本幸司，渡辺美保子，村上めぐみ，青木孝安，萩野浩子，池田直博，片岡靖博，君山由良，清水加代子，高橋由美子，樋口伸吾，中島義行，松井良子，山本司郎，水口礼治，進藤俊一，糸川民生，上山忠男，高木寿夫，佐藤文子，松原慶太郎，前沢貞司，細川徹，小林正和。

物故者

以下の方がお亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

長谷川貢

6. 寄贈文献（前号掲載分以降のもの）

学会事務局に，以下のような雑誌類が寄贈されていますのでご利用下さい。

一 定期刊物物—

テレビ・ラジオ番組視聴率調査（NHK 放送世論調査部）1989，1990。平成元年6・11月号

放送研究と調査（NHK 総合放送文化研究所）1989，1990。平成元年8月号～

母子保健情報（恩賜財団母子愛育会）1990。vol.20。

科学警察研究所報告—防犯少年編—（科学警察研究所）1989。1989。vol. 30-2，31-1。

関係学研究（関係学研究編集委員会）1988。vol.16-1。

ITASS Review（国際交通安全学会）1989，1990。vol. 15-4，16-1。

ITASS Reseach（国際交通安全学会）1989。vol. 13-2。

雇用職業総合研究所年報（雇用職業総合研究所）1989。

雇用職業研究（雇用職業研究所）1989。no. 30。

雇用と職業（雇用職業研究所）1989。no. 68。

玩具文化（佐藤玩具文化財団）1989。vol. 6。

基礎心理学研究（日本基礎心理学会）1989。vol. 7-1，2.8-2。

指導と評価（日本教育評価研究会）1989，1990。vol. 35-7～6，36-1～6。

人事試験研究（日本人事試験研究センター）1989，1990。131～135。

化粧研究（ポーラ文化研究所）1989，1990。no. 21，22。

産業安全研究所年報（労働省産業安全研究所）1988。

神奈川文化（神奈川県立図書館）1989。332。

慶応義塾大学大学院社会学研究科紀要（慶応義塾大学大学院社会学研究科）1990。no. 30。

人文学研究（神奈川大学人文学研究所）1990。no. 23。

人文研究（神奈川大学人文学会）1989，1990。no. 102～106。

研究紀要（鹿児島女子大学）1990。vol. 11。

筑波大学心理学研究（筑波大学心理学系）1990。no. 12。

東京大学教育学部紀要（東京大学教育学部）1989。vol. 29。

名古屋大学教育学部紀要—教育学科—（名古屋大学教育学部）1989。vol. 36。

名古屋大学教育学部紀要—教育心理学科—（名古屋大学教育学部）1989。vol. 36。

明星大学心理学年報（明星大学心理学研究室）1990。vol. 8。

早稲田大学システム科学研究所所報（早稲田大学システム科学研究所）1990。vol. 22。

早稲田大学心理学年報（早稲田大学文学部心理学会）1990。vol. 22。

東京学芸大学紀要第I部門教育科学（東京学芸大学紀要出版委員会）1990。vol. 41。

上智大学心理学年報（上智大学心理学科）1989。vol. 14。

山梨大学教育学部研究報告 1989。vol. 39，40。

立教大学心理学科研究年報 1986，1987，1988。no. 29～31。

臨床心理士会報（日本臨床心理士会）1990。vol. 1-1。

—図書—

研究調査報告書—昭和62年度助成分—1990。電気通信普及財団